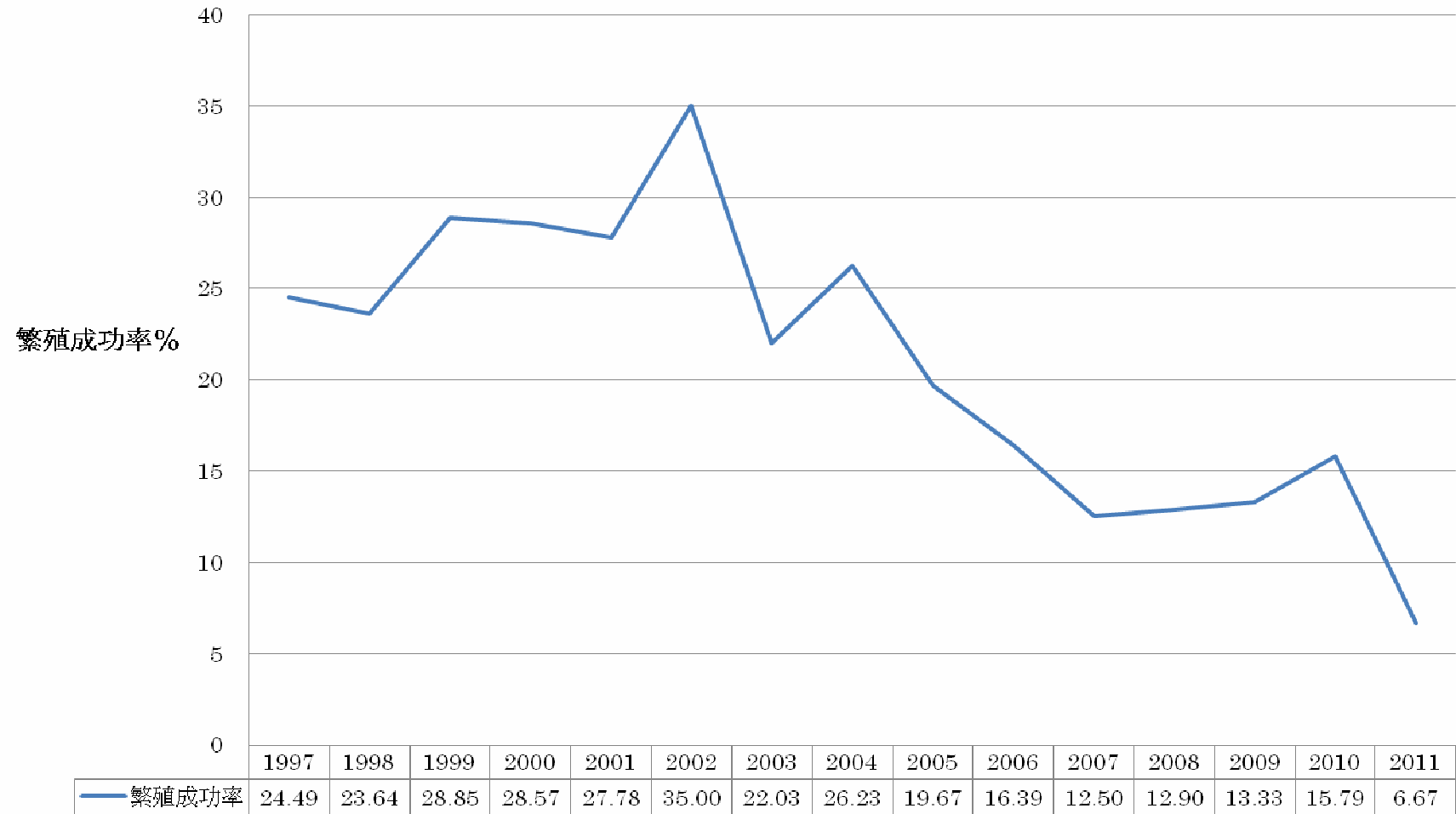


東北地域の繁殖成功率の変化



東北地域の繁殖成功率の推移です。各地で継続してイヌワシの繁殖調査を行って来てくださっている方々から情報提供していただきました。（ここでは繁殖成功の定義は幼鳥の飛翔確認＝その年の繁殖成功としています）

10年前と比べると繁殖成功率が著しく低下しています。繁殖成功率を上げるための取組に向けて繁殖阻害要因の解析を行いました。人工林の伐採や更新作業が減って、林がうっぺい化し（隙間無く杉などの針葉樹が混み合っている状態）、餌狩り場や、ウサギなどの餌動物の生息環境が減って、餌不足になっていることが大きな要因と考えられます。

生息する森林環境について解析した結果、10年生以下の人工林、5年生以下の広葉樹林を含む低木草地、101年生以上の落葉広葉樹林が多いほど繁殖成功率が高く、人工林は伐採、植樹による更新が行われ若い林である状態、自然植生である落葉樹林は天然更新による森の維持がイヌワシにとって好環境です。